

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 16日

札幌市長 様

提出者

住 所 北海道札幌市手稲区新発寒5条1丁目1-1

氏 名 タマホーム株式会社 札幌支店

支店長 小西 諒佑

電話番号 011-669-3300

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	タマホーム株式会社 札幌支店
事業場の所在地	北海道札幌市手稲区新発寒5条1丁目1-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	198,526万円
③ 従業員数	41人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・石膏ボード→破碎→石膏→管理型埋立 ・ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず→安定型埋立 ・がれき類→安定型埋立 ・紙くず→圧縮→製紙原料 ・廃プラスチック→安定型埋立 ・木くず→破碎→燃料チップ ・金属くず→破碎→再生 ・管理型混廃→埋立

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
【別紙－１のとおり】			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	242.3 t	136.5 t
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・陶磁器くず
	排出量	331.8 t	155.2 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず
	排出量	55.2 t	48.6 t
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	管理型混廃
	排出量	61.1 t	16.3 t
	（これまでに実施した取組） ・石膏ボードは別の容器に分別して再生利用出来るようにした ・現場で材料の端材を減らすように指導している。 ・梱包材や養生材を削減 ・木材のプレカット化 ・発生抑制に関する情報収集		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	235.0 t	132.4 t
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・陶磁器くず
	排出量	321.9 t	150.5 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず
	排出量	53.5 t	47.1 t
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	管理型混廃
	排出量	59.2 t	15.8 t
	（今後実施する予定の取組） ・上記に加え、下記の取り組みを実施予定 ・発生抑制のための調達方法の工夫 ・工法の改善検討 ・梱包材の簡素化 ・配管類のユニット化		

産業廃棄物の分別に関する事項		
	① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・石膏ボードは他の廃棄物と混合しないように分別保管を実施 ・がれき類（コンクリート塊）、木材を分別 ・管理型処分産業廃棄物と安定型処分産業廃棄物とに分別を実施予定
	② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず（サイディング）についても分別予定 ・分別に関する情報収集

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	155.2 t	242.3 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	46.6 t	193.8 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	全 処 理 委 託 量	48.6 t	136.5 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	46.2 t	109.2 t

		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		木くず	石膏ボード
	全 処 理 委 託 量		331.8 t	61.1 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	315.2 t	42.8 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
		産 業 廃 棄 物 の 種 類		管理型混廃
	全 処 理 委 託 量		16.3 t	55.2 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	29.3 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
		(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って産業廃棄物を委託出来る業者を選定し、電子による契 約を実施。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	全処理委託量	150.5 t	235.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	7.5 t	11.8 t
	再生利用業者への 処理委託量	60.2 t	211.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	全処理委託量	47.1 t	132.4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2.4 t	6.6 t
	再生利用業者への 処理委託量	47.1 t	119.2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	木くず	石膏ボード
	全処理委託量	321.9 t	59.2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	16.1 t	3.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	321.9 t	47.4 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	管理型混廃	がれき類
	全処理委託量	15.8 t	53.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.8 t	2.7 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.6 t	33.7 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t

		(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・再生処理を中心にした産業廃棄物処理業者の選定を促進する ・委託処分事業者の現地確認を実施する。 ・委託業者任せにせず性情等を把握する。
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請け完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

統括責任者		所 属：札幌支店	職・氏名：支店長 小西 諒佑
廃棄物担当		組織名：札幌支店工務課	組織人数：41人
役 割	支店長 (廃棄物処理統括責任者)	○廃棄物処理方針 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定 ○廃棄物処理に関する各種事項の承認 ○廃棄物処理計画の管理 ○委託契約の締結管理	
	工程安全委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。	
	工務責任者 (廃棄物管理担当)	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理表の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項	
	作業所 工務担当 (作業所担当)	○廃棄物管理状況の把握 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○その他関係する事項	

廃棄物管理組織図

